

枚方市 人口推計調査報告書

- 概要版 -

平成 20 年 3 月

枚 方 市

目 次

1．人口推計の目的と基本的な考え方	1
2．枚方市域の将来人口推計	1
3．地域別の人口推計	3
4．年齢階層別の人口推計	5

< 参考資料 >

参考資料 1 総人口・世帯数の推移	11
参考資料 2 年齢3区分別人口の推移	12
参考資料 3 地域別人口の推移	13
参考資料 4 人口動態の推移	15
参考資料 5 周辺市の人口の推移	16
参考資料 6 国による人口の見通し	17
参考資料 7 ケースごとの人口推計	19
参考資料 8 推計手法（基礎条件）	23

1. 人口推計の目的と基本的な考え方

今回の将来人口推計は、総合計画の見直しに際し、その基礎資料とするため、平成 24 年から平成 49 年までの間について、5 年毎に推計したものである。

推計にあたっては、全国や大阪府、周辺市の動向を踏まえるとともに、前回の将来人口推計と同様に、国立社会保障・人口問題研究所においても採用されているコーホート要因法を用い、平成 19 年 10 月 1 日の住民基本台帳人口と外国人登録者数をベースに推計することとした。

2. 枚方市域の将来人口推計

(1) 推計方法

	説明	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
合計特殊出生率	合計特殊出生率は、国立社会保障・人口問題研究所が平成 18 年 12 月に公表しており、その値は低位・中位・高位 の 3 パターンがある。	中位	中位	高位	高位
将来の人口変動要因	将来の人口変動要因として、平成 14 年から平成 19 年における転入・転出等による社会移動の推移が続く、または、社会移動の推移を見込まず転入・転出が均一で人口バランスが変わらないとする 2 パターンがある。	社会移動の推移が続く	転入・転出が均一で人口バランスが変わらない	社会移動の推移が続く	転入・転出が均一で人口バランスが変わらない

(参考)平成 22 年の合計特殊出生率は、低位(約 1.08%)、中位(約 1.22%)、高位(約 1.33%)である。

(2) 推計結果

国や府、近隣市の人口はすでに減少傾向にあり、本市においても中長期を見通すと、いずれ減少局面を迎える時期が訪れると予想されるが、本市の人口については、人口動態の推移や宅地開発状況などから近年でも微増傾向が続いている。

このような傾向の下で、本市における人口推計については、合計特殊出生率(低位を除く)と将来の人口変動要因を組み合わせた 4 つのケースで算出を行った。

合計特殊出生率については、本市の出生数が減少傾向にあることから、高位ではなく中位とする。

次に、本市における近年の社会移動は、平成 11 年以降、転出数が転入数を上回り、約 - 2,730 人から約 - 280 人の社会減が続いていたが、平成 19 年度には社会増に転じるなど不安定であり、この傾向を将来の人口変動要因とすることは妥当性を欠くと考えられる。

また、将来の人口変動要因のうち社会移動の推移が続くとするケース 1 とケース 3 の人口推計結果においては、翌年度から人口が減少することになり、本市における近年の傾向とも大きく異なっている。

さらに、転入数と転出数は、平成 10 年ではともに約 20,000 人であったのが、平成 19 年ではともに約 16,000 人に減少し、その差が縮小傾向にある。

以上のことから、本市の人口推計としては、市外からの転入と市外への転出が均一で人口バランスが変わらないケース2を用いて算出することとする。

ケース2では、平成19年から平成24年までの5年間で約300人が増加し、10年後の平成29年には約4,800人の減少に転じる。

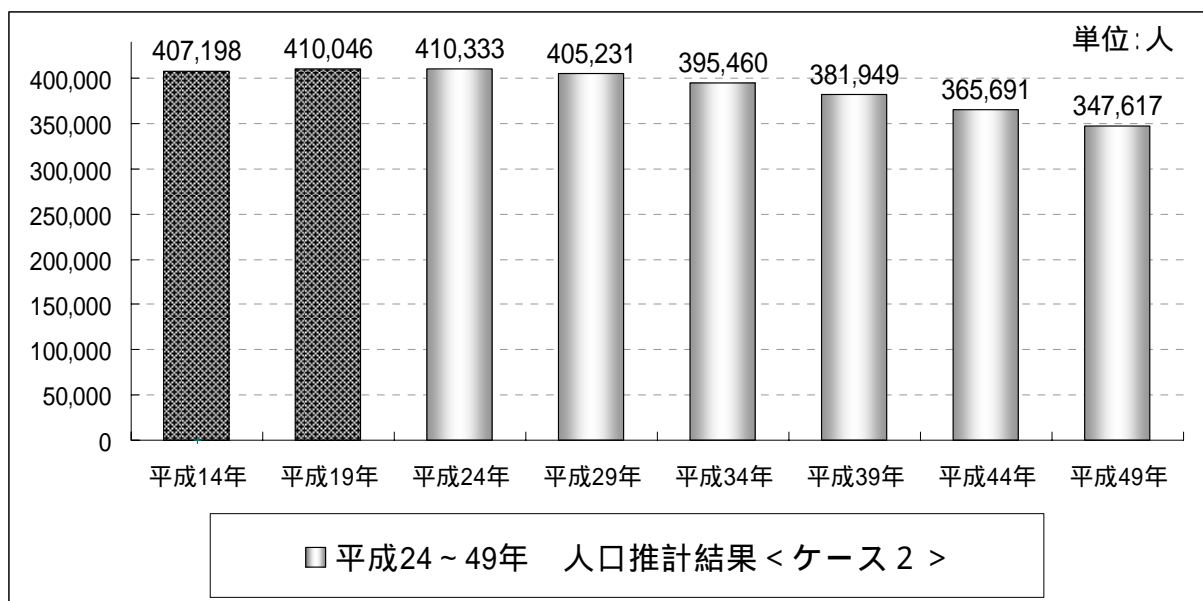
低位を用いた算出では、人口減少傾向が大きいいため除いている。

表1 <ケース2>人口バランスを維持する推計結果(中位) (人)

	平成24年 (2012)	平成29年 (2017)	平成34年 (2022)	平成39年 (2027)	平成44年 (2032)	平成49年 (2037)
推計人口	410,333	405,231	395,460	381,949	365,691	347,617
男性	198,681	195,007	188,980	181,292	172,662	163,617
女性	211,652	210,224	206,480	200,657	193,029	184,000

ケース1、ケース3、ケース4の結果は、参考資料7に掲載

図1 人口推計結果<ケース2>



3. 地域別の人口推計

地域別の推計については、全市の外国人登録者数を地域の男女別及び年齢別人口に按分している。平成19年から平成24年にかけて、北部地域、中部地域、南部地域では減少となるが、その他の地域では微増となる。

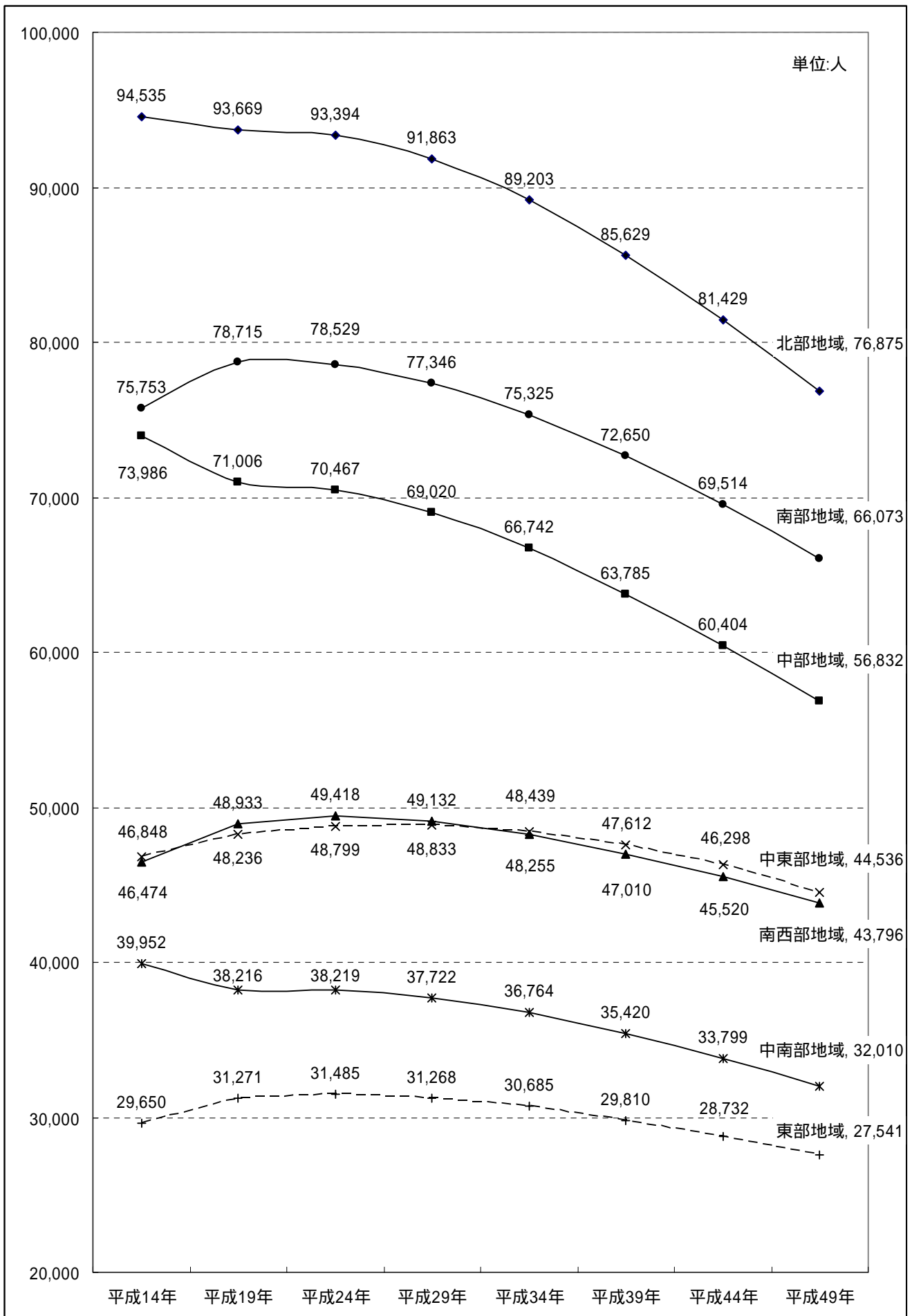
表2 地域別人口推計結果<ケース2>

(人)

	平成14年	平成19年	平成24年	平成29年	平成34年	平成39年	平成44年	平成49年
北部地域	94,535	93,669	93,394	91,863	89,203	85,629	81,429	76,875
男性	46,023	45,332	44,943	43,897	42,305	40,336	38,182	35,974
女性	48,512	48,337	48,451	47,966	46,898	45,293	43,247	40,901
中部地域	73,986	71,006	70,467	69,020	66,742	63,785	60,404	56,832
男性	36,361	34,756	34,310	33,386	32,051	30,425	28,668	26,894
女性	37,625	36,250	36,157	35,634	34,691	33,360	31,736	29,938
南西部地域	46,474	48,933	49,418	49,132	48,255	47,010	45,520	43,796
男性	22,912	23,880	24,033	23,788	23,239	22,514	21,690	20,780
女性	23,562	25,053	25,385	25,344	25,016	24,496	23,830	23,016
中東部地域	46,848	48,236	48,799	48,833	48,439	47,612	46,298	44,536
男性	23,139	23,755	23,945	23,823	23,456	22,868	22,071	21,117
女性	23,709	24,481	24,854	25,010	24,983	24,744	24,227	23,419
中南部地域	39,952	38,216	38,219	37,722	36,764	35,420	33,799	32,010
男性	19,730	18,780	18,713	18,366	17,775	17,001	16,130	15,227
女性	20,222	19,436	19,506	19,356	18,989	18,419	17,669	16,783
南部地域	75,753	78,715	78,529	77,346	75,325	72,650	69,514	66,073
男性	36,593	37,687	37,391	36,582	35,385	33,918	32,308	30,636
女性	39,160	41,028	41,138	40,764	39,940	38,732	37,206	35,437
東部地域	29,650	31,271	31,485	31,268	30,685	29,810	28,732	27,541
男性	14,491	15,291	15,336	15,140	14,743	14,207	13,606	13,003
女性	15,159	15,980	16,149	16,128	15,942	15,603	15,126	14,538
合計	407,198	410,046	410,311	405,184	395,413	381,916	365,696	347,663
男性	199,249	199,481	198,671	194,982	188,954	181,269	172,655	163,631
女性	207,949	210,565	211,640	210,202	206,459	200,647	193,041	184,032

推計は地域ごとに行っており、各地域の推計結果の合計と総人口の推計結果とは合致しない。

図2 地域別人口推計結果<ケース2>



4. 年齢階層別の人口推計

年齢階層別人口推計については、転入・転出が均一で人口バランスが変わらないとしていることから、平成19年時点の人口を基に推計することとした。平成19年の55～59歳の層が平成29年に65～69歳の年齢層となり、65歳以上の比率も26.6%まで上がる。一方で、少子化の影響により平成29年には0～14歳の比率は12.1%となる。

表3 年齢階層別人口推計結果<ケース2> (人)

年齢階層 (歳)	平成24年			平成29年			平成34年		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
0～4	8,277	7,935	16,212	7,264	6,965	14,229	6,618	6,345	12,963
5～9	9,546	9,028	18,574	8,268	7,929	16,197	7,256	6,959	14,215
10～14	10,830	10,137	20,967	9,541	9,025	18,566	8,263	7,926	16,189
15～19	10,342	10,067	20,409	10,818	10,131	20,949	9,531	9,020	18,551
20～24	10,517	10,025	20,542	10,316	10,055	20,371	10,791	10,119	20,910
25～29	11,730	11,868	23,598	10,483	10,009	20,492	10,283	10,039	20,322
30～34	12,571	13,110	25,681	11,687	11,846	23,533	10,445	9,991	20,436
35～39	15,923	16,140	32,063	12,511	13,076	25,587	11,631	11,816	23,447
40～44	16,674	17,006	33,680	15,812	16,081	31,893	12,424	13,028	25,452
45～49	13,456	13,550	27,006	16,492	16,913	33,405	15,640	15,993	31,633
50～54	11,311	11,750	23,061	13,223	13,435	26,658	16,206	16,769	32,975
55～59	11,452	12,369	23,821	10,997	11,600	22,597	12,856	13,263	26,119
60～64	15,851	18,271	34,122	10,965	12,147	23,112	10,529	11,392	21,921
65～69	13,737	15,199	28,936	14,867	17,792	32,659	10,284	11,829	22,113
70～74	11,724	12,834	24,558	12,380	14,549	26,929	13,398	17,031	30,429
75～79	7,791	9,315	17,106	9,834	11,880	21,714	10,384	13,468	23,852
80～84	4,354	6,375	10,729	5,787	8,069	13,856	7,304	10,291	17,595
85以上	2,595	6,673	9,268	3,762	8,722	12,484	5,137	11,201	16,338
合計	198,681	211,652	410,333	195,007	210,224	405,231	188,980	206,480	395,460

(人)

年齢階層 (歳)	平成39年			平成44年			平成49年		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
0～4	6,252	5,994	12,246	5,966	5,720	11,686	5,537	5,309	10,846
5～9	6,611	6,340	12,951	6,245	5,989	12,234	5,960	5,715	11,675
10～14	7,252	6,956	14,208	6,607	6,338	12,945	6,241	5,987	12,228
15～19	8,254	7,921	16,175	7,244	6,952	14,196	6,600	6,334	12,934
20～24	9,507	9,009	18,516	8,233	7,911	16,144	7,226	6,944	14,170
25～29	10,757	10,103	20,860	9,477	8,995	18,472	8,207	7,899	16,106
30～34	10,245	10,021	20,266	10,718	10,085	20,803	9,442	8,979	18,421
35～39	10,395	9,965	20,360	10,196	9,995	20,191	10,667	10,059	20,726
40～44	11,550	11,773	23,323	10,323	9,929	20,252	10,125	9,958	20,083
45～49	12,289	12,957	25,246	11,424	11,709	23,133	10,210	9,875	20,085
50～54	15,369	15,857	31,226	12,076	12,847	24,923	11,226	11,609	22,835
55～59	15,756	16,555	32,311	14,942	15,654	30,596	11,740	12,683	24,423
60～64	12,309	13,025	25,334	15,086	16,258	31,344	14,306	15,374	29,680
65～69	9,875	11,094	20,969	11,545	12,684	24,229	14,149	15,832	29,981
70～74	9,268	11,323	20,591	8,899	10,619	19,518	10,404	12,141	22,545
75～79	11,238	15,766	27,004	7,774	10,482	18,256	7,464	9,830	17,294
80～84	7,712	11,667	19,379	8,347	13,657	22,004	5,774	9,080	14,854
85以上	6,653	14,331	20,984	7,560	17,205	24,765	8,339	20,392	28,731
合計	181,292	200,657	381,949	172,662	193,029	365,691	163,617	184,000	347,617

表4 年齢3区分別人口推計結果<ケース2>

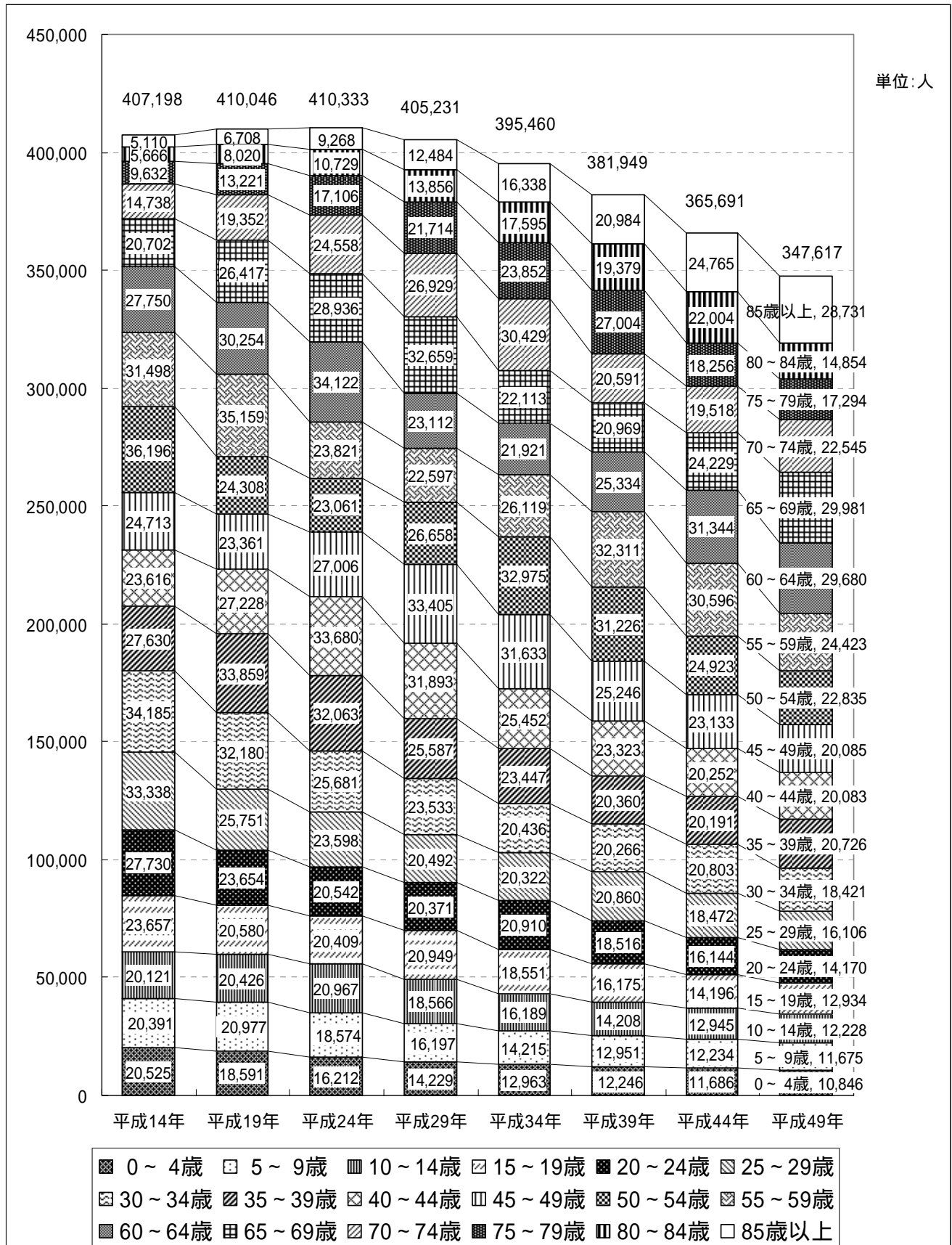
(人)

年齢階層 (歳)	平成 24 年			平成 29 年			平成 34 年		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
0～14	28,653	27,100	55,753	25,073	23,919	48,992	22,137	21,230	43,367
	14.4%	12.8%	13.6%	12.9%	11.4%	12.1%	11.7%	10.3%	11.0%
15～64	129,827	134,156	263,983	123,304	125,293	248,597	120,336	121,430	241,766
	65.3%	63.4%	64.3%	63.2%	59.6%	61.3%	63.7%	58.8%	61.1%
65以上	40,201	50,396	90,597	46,630	61,012	107,642	46,507	63,820	110,327
	20.2%	23.8%	22.1%	23.9%	29.0%	26.6%	24.6%	30.9%	27.9%
合計	198,681	211,652	410,333	195,007	210,224	405,231	188,980	206,480	395,460
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(人)

年齢階層 (歳)	平成 39 年			平成 44 年			平成 49 年		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
0～14	20,115	19,290	39,405	18,818	18,047	36,865	17,738	17,011	34,749
	11.1%	9.6%	10.3%	10.9%	9.3%	10.1%	10.8%	9.2%	10.0%
15～64	116,431	117,186	233,617	109,719	110,335	220,054	99,749	99,714	199,463
	64.2%	58.4%	61.2%	63.5%	57.2%	60.2%	61.0%	54.2%	57.4%
65以上	44,746	64,181	108,927	44,125	64,647	108,772	46,130	67,275	113,405
	24.7%	32.0%	28.5%	25.6%	33.5%	29.7%	28.2%	36.6%	32.6%
合計	181,292	200,657	381,949	172,662	193,029	365,691	163,617	184,000	347,617
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

図3 年齢階層別人口推計結果<ケース2>



參考資料

参考資料1 総人口・世帯数の推移

本市の人口は、昭和60年までは大幅な増加を続けてきたが、昭和60年以降は微増傾向となり、平成12年から平成17年までの直近の5年間では、国勢調査結果で1,481人、住民基本台帳人口で2,420人の増加となっている。

世帯数は大きく増加しているが、世帯あたり人員は減少傾向が続いており、平成17年の国勢調査結果によると、世帯あたり人員は2.60人となっている。

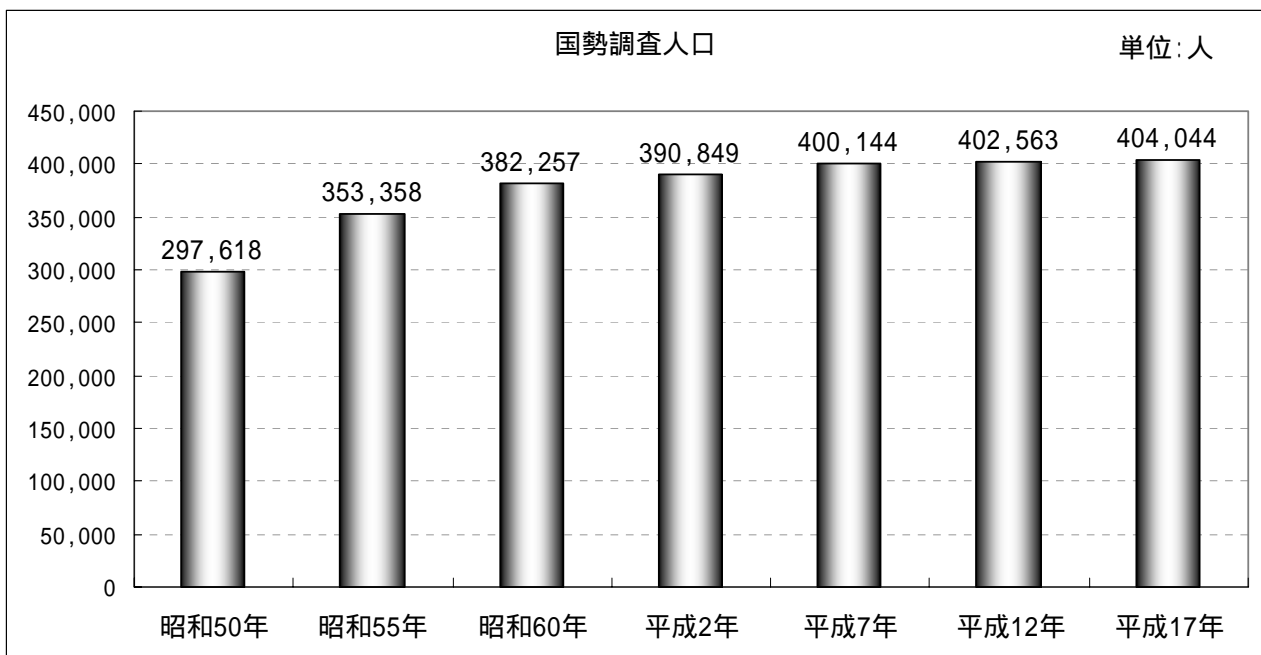
外国人登録者数は、増加を続けており、昭和55年から平成17年の間に約2倍の増加となっている。

表 総人口の推移

	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
国勢調査							
国勢調査人口(人)	297,618	353,358	382,257	390,849	400,144	402,563	404,044
増加指数(昭和50年=100)	100.0	118.7	128.4	131.3	134.4	135.3	135.8
国勢調査世帯数(世帯)	85,601	111,080	120,849	128,955	139,866	147,934	155,595
増加指数(昭和50年=100)	100	129.8	141.2	150.6	163.4	172.8	181.8
世帯あたり人員(人/世帯)	3.48	3.18	3.16	3.03	2.86	2.72	2.60
住民基本台帳							
住民基本台帳人口(人)	299,563	355,457	379,751	389,326	397,841	401,714	404,134
国勢調査との差(人)	1,945	2,099	-2,506	-1,523	-2,303	-849	90
住民基本台帳世帯数(世帯)	80,262	95,756	121,785	130,166	140,784	149,624	158,910
国勢調査との差(世帯)	-5,339	-15,324	936	1,211	918	1,690	3,315
世帯あたり人員(人/世帯)	3.73	3.71	3.12	2.99	2.83	2.68	2.54
外国人登録者数(人)	1,639	2,237	2,405	2,669	3,250	4,012	4,451

国勢調査、枚方市統計書より

図 総人口の推移



国勢調査より

参考資料2 年齢3区分別人口の推移

年齢3区分別人口については、国勢調査結果によると少子高齢化の進行が続いており、平成2年と平成17年を比較すると、年少人口（0～14歳）は5.1%（17,852人）、生産年齢人口（15～64歳）は3.7%（4,108人）の減少に対し、老年人口（65歳以上）は8.8%（36,651人）と大きく増加している。

表 3区分別人口の推移 (人)

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
年少人口(0～14歳)	76,618	65,064	60,478	58,766
生産年齢人口(15～64歳)	282,938	297,110	290,977	278,830
老年人口(65歳以上)	28,817	37,793	49,727	65,468

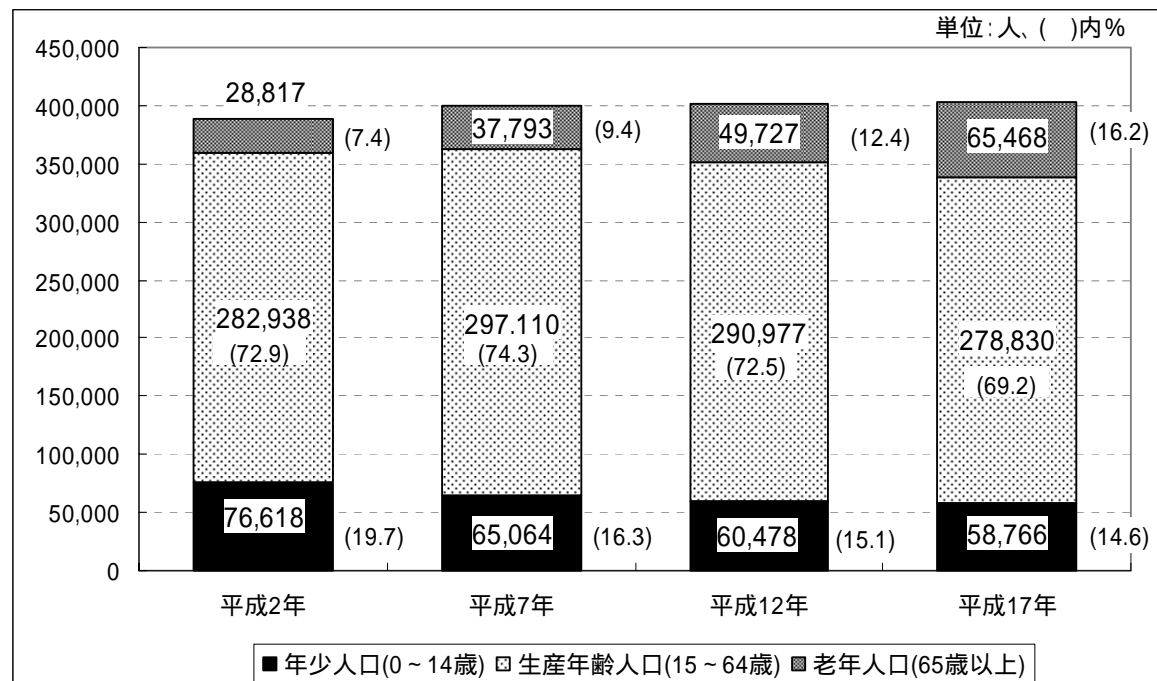
国勢調査より 年齢不詳を除いているため各年の合計と総人口とは合致しない。

表 3区分別人口比率の推移 (%)

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
年少人口(0～14歳)	19.7	16.3	15.1	14.6
生産年齢人口(15～64歳)	72.9	74.3	72.5	69.2
老年人口(65歳以上)	7.4	9.4	12.4	16.2

国勢調査より

図 3区分別人口の推移



国勢調査より 年齢不詳を除いているため各年の合計と総人口とは合致しない。

(2) 地域別の人口動向

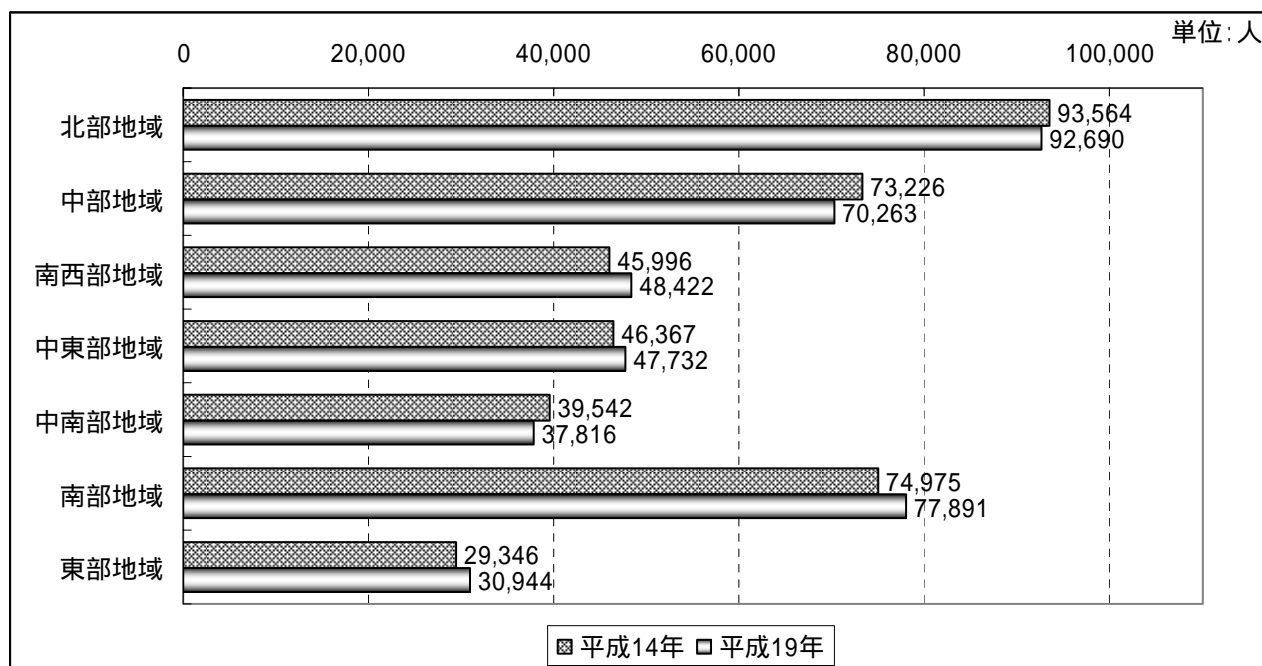
地域別の人口について、平成14年から平成19年までの住民基本台帳人口による動向をみると、南部地域、南西部地域では2千人を超える人口増となっており、中東部地域、東部地域でも増加となっている。一方で、中部地域では3千人近い減少がみられ、中南部地域で約2千人近く、北部地域でも約千人近くの減少となっている。

表 地域別人口の動向

平成14年住民基本台帳人口(人)			平成19年住民基本台帳人口(人)				増減数 (人)	
	男性	女性	合計		男性	女性		合計
北部地域	45,558	48,006	93,564	北部地域	44,859	47,831	92,690	-874
中部地域	35,993	37,233	73,226	中部地域	34,393	35,870	70,263	-2,963
南西部地域	22,680	23,316	45,996	南西部地域	23,631	24,791	48,422	2,426
中東部地域	22,905	23,462	46,367	中東部地域	23,507	24,225	47,732	1,365
中南部地域	19,531	20,011	39,542	中南部地域	18,584	19,232	37,816	-1,726
南部地域	36,223	38,752	74,975	南部地域	37,293	40,598	77,891	2,916
東部地域	14,345	15,001	29,346	東部地域	15,131	15,813	30,944	1,598
合計	197,235	205,781	403,016	合計	197,398	208,360	405,758	2,742

住民基本台帳人口より

図 地域別人口の動向



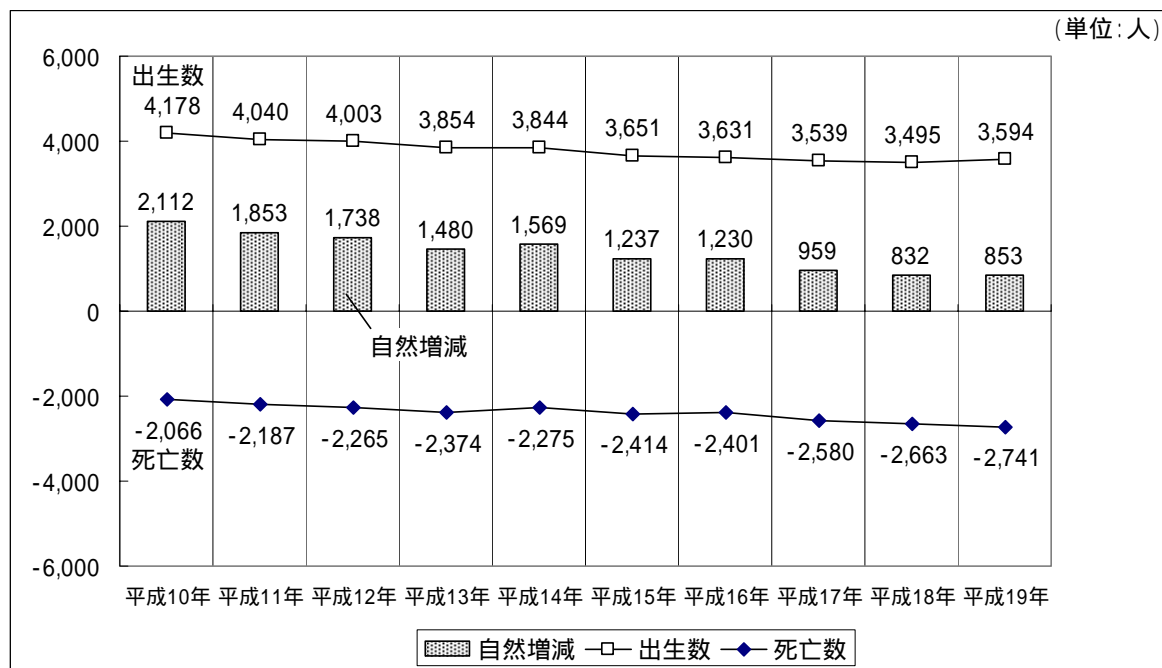
住民基本台帳人口より

参考資料4 人口動態の推移

自然動態は、出生数が死亡数を上回る自然増が続いている。平成15年からは減少傾向にあったが、平成19年では約20人の増加となっている。出生数は平成10年と平成18年を比較すると約700人の減少となっているが、平成19年では前年より約100人の増加となっている。

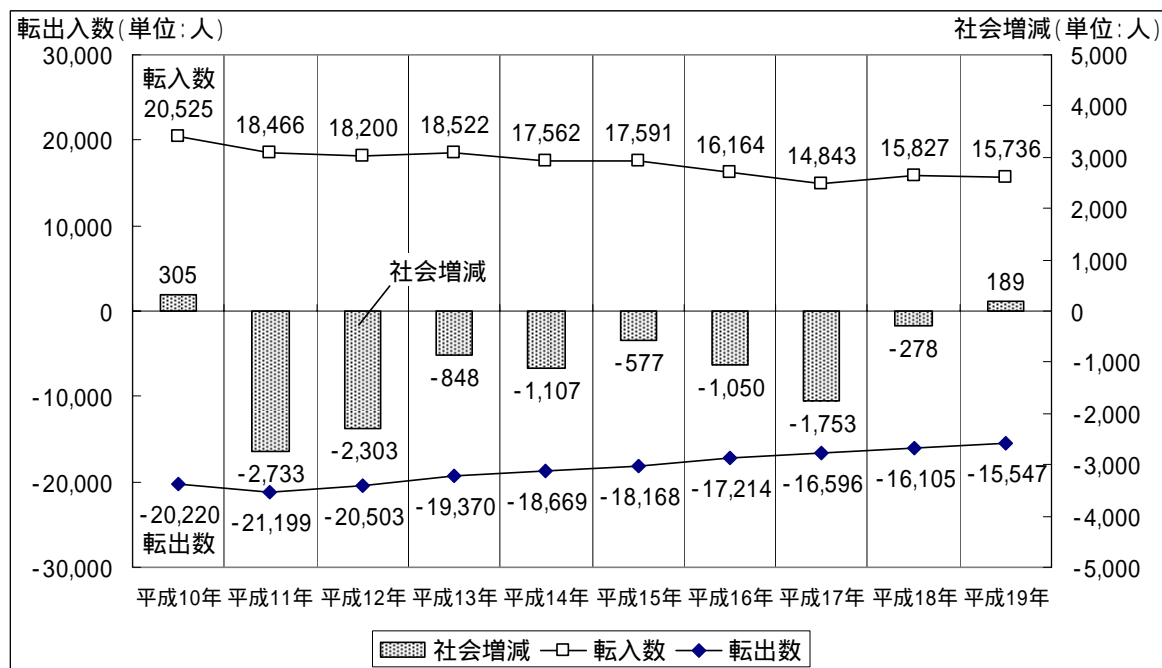
社会動態は、平成11年以降、転出数が転入数を上回り、約-2,730人から約-280人の社会減が続いていたが、平成19年では約190人の社会増となっている。転出数は減少傾向が続いている。一方で、転入数は平成11年から減少傾向にあったが、平成18年では前年より約980人の増加となっている。

図 出生数、死亡数の推移



枚方市統計書より

図 転入数、転出数の推移

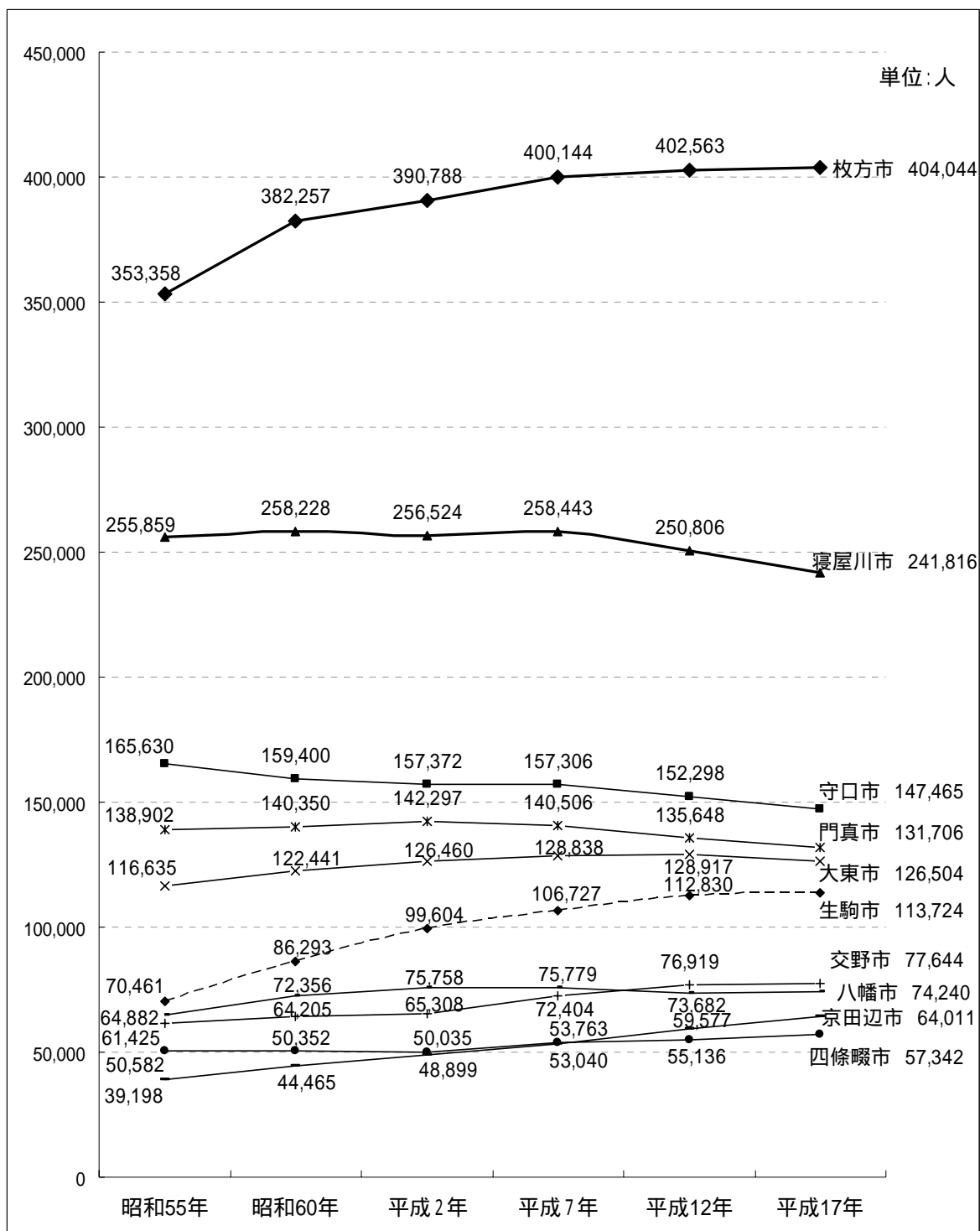


枚方市統計書より

参考資料5 周辺市の人口の推移

周辺市の人口動向をみると、高度成長期に急速な人口増となった寝屋川市、守口市、門真市、大東市については減少傾向にあり、寝屋川市では平成12年から平成17年の間で約9,000人の減少となっている。一方で、四條畷市、交野市、京田辺市、生駒市では、これまでのような人口増はみられないものの、依然として微増傾向が続いている。

図 枚方市及び周辺市の人口の推移



国勢調査より

参考資料6 国による人口の見通し

平成 17 年の国勢調査によると、全国の人口は 12,776 万 8 千人、大阪府の人口は 881 万 7,010 人とともに増加傾向にある。しかし、国立社会保障・人口問題研究所の平成 18 年 12 月推計によると、全国では今後減少に転じると予想されており、大阪府(平成 19 年 5 月推計)及び枚方市(平成 15 年 12 月推計)の人口も、平成 17 年から平成 22 年までの間に減少に転じると予想されている。

表 全国・大阪府・枚方市の人口動向 (人)

	昭和 55 年	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年
全国	117,060,000	121,049,000	123,611,000	125,570,000	126,926,000	127,768,000
大阪府	8,473,446	8,668,095	8,734,516	8,797,268	8,805,081	8,817,010
枚方市	353,358	382,257	390,849	400,144	402,563	404,044

国勢調査より

表 全国・大阪府・枚方市の将来人口推計 (人)

	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
全国	127,768,000	127,176,000	125,430,000	122,735,000	119,270,000	115,224,000
大阪府	8,817,010	8,736,140	8,581,549	8,357,923	8,072,462	7,740,938
枚方市	404,044	402,975	398,075	389,394	376,729	361,107

全 国 (日本の将来推計人口 (平成 18 年 12 月推計) より)

大阪府 (日本の都道府県別将来推計人口 (平成 19 年 5 月推計) より)

枚方市 (日本の市区町村別将来推計人口 (平成 15 年 12 月推計) より、ただし平成 17 年人口は実績値)

図 全国・枚方市の人口動向と将来推計人口

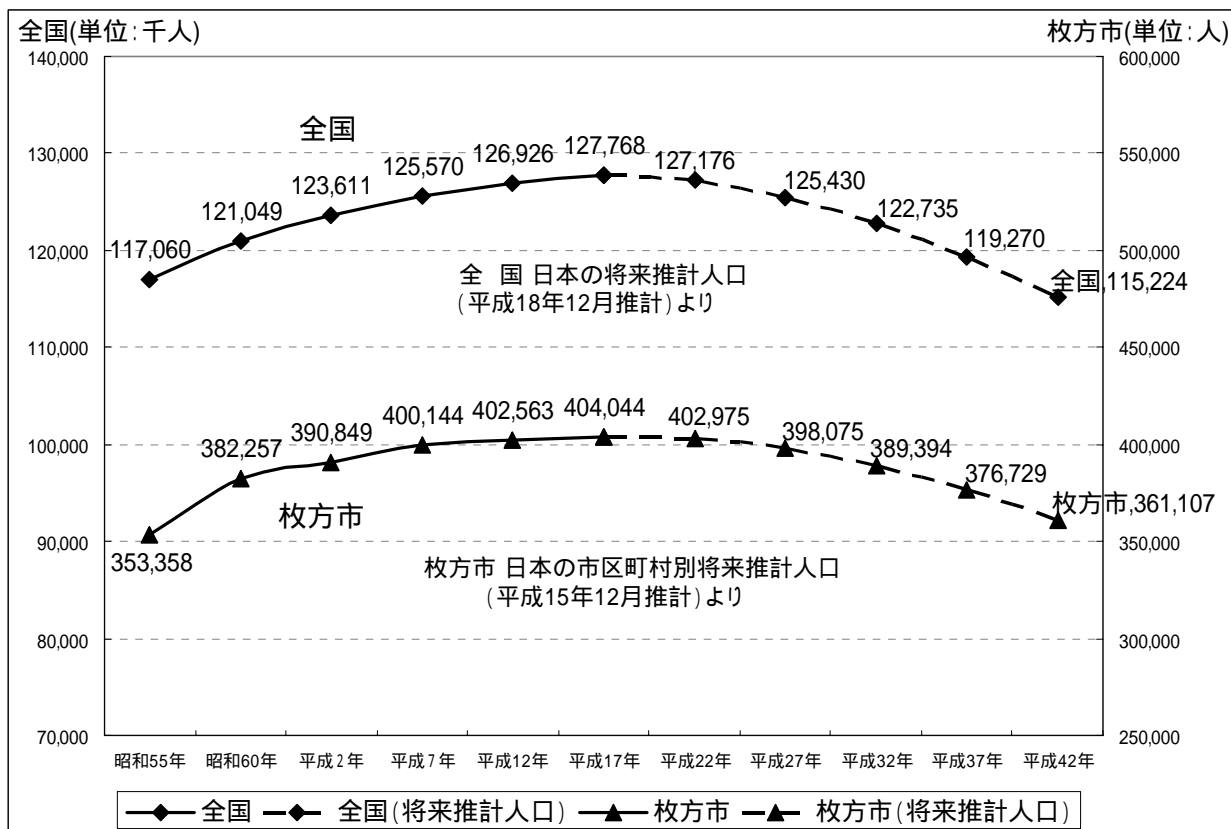
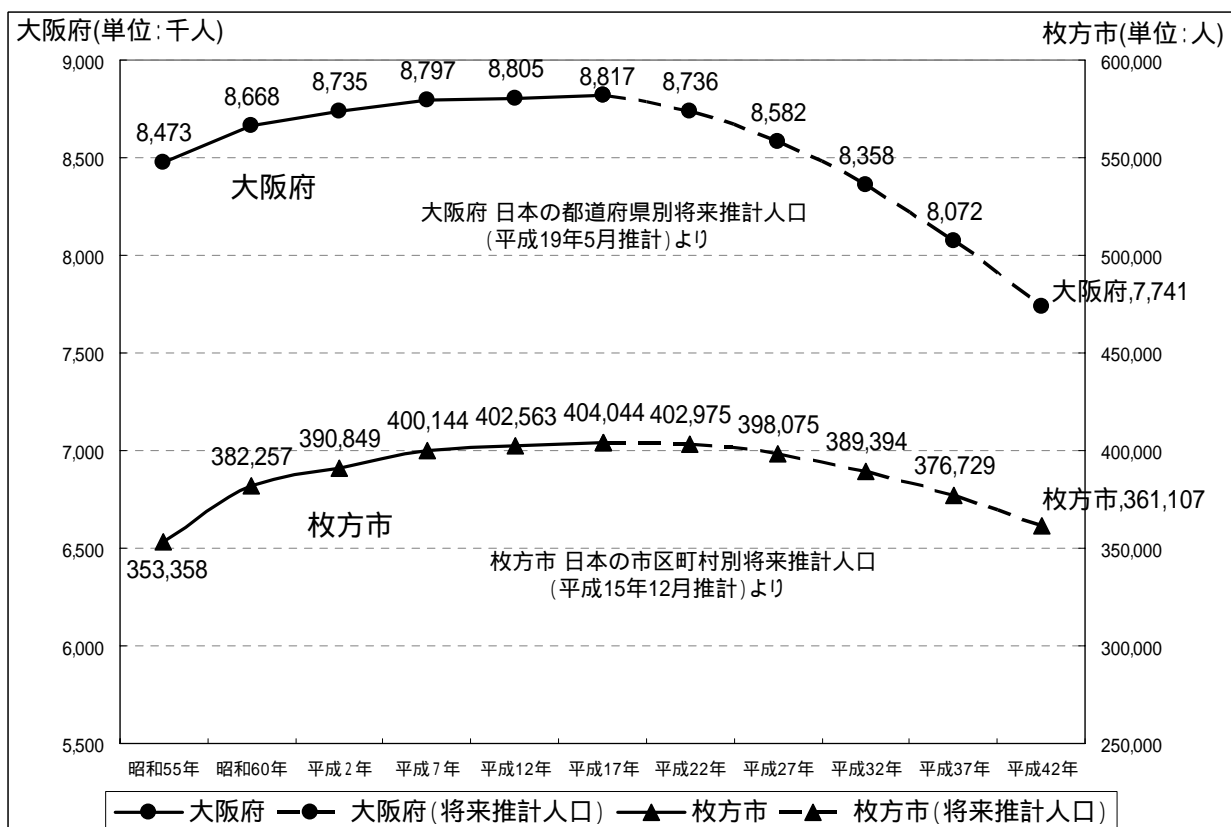


図 大阪府・枚方市の人口動向と将来推計人口



参考資料7 ケースごとの人口推計

<ケース1>推計結果(中位)

平成19年から平成24年までの5年間で約2,400人が減少し、10年後の平成29年にはさらに約9,900人の減少となる。

表 <ケース1>推計結果(中位) (人)

	平成24年 (2012)	平成29年 (2017)	平成34年 (2022)	平成39年 (2027)	平成44年 (2032)	平成49年 (2037)
推計人口	407,663	400,124	387,996	372,042	353,668	333,717
男性	196,779	191,297	183,526	174,131	164,044	153,775
女性	210,884	208,827	204,470	197,911	189,624	179,942

〔平成14年から平成19年の間の住宅開発や社会移動などの人口変動要因が今後も続くと仮定して推計している。〕

<ケース2>人口バランスを維持する推計結果(中位)

平成19年から平成24年までの5年間で約300人が増加し、10年後の平成29年には約4,800人の減少に転じる。

表 <ケース2>人口バランスを維持する推計結果(中位) (人)

	平成24年 (2012)	平成29年 (2017)	平成34年 (2022)	平成39年 (2027)	平成44年 (2032)	平成49年 (2037)
推計人口	410,339	405,237	395,465	381,953	365,695	347,620
男性	198,681	195,007	188,980	181,292	172,662	163,617
女性	211,658	210,230	206,485	200,661	193,033	184,003

〔平成19年以降、転出と転入のバランスが均一で人口構成が変わらない、もしくは現在住んでいる方が転出されない、市外から転入がないと仮定している。〕

<ケース3>推計結果(高位)

平成19年から平成24年までの5年間で約1,000人が減少し、10年後の平成29年にはさらに約6,400人の減少となる。

表 <ケース3>推計結果(高位) (人)

	平成24年 (2012)	平成29年 (2017)	平成34年 (2022)	平成39年 (2027)	平成44年 (2032)	平成49年 (2037)
推計人口	409,091	403,663	394,082	380,905	365,383	348,283
男性	197,508	193,110	186,646	178,676	170,040	161,211
女性	211,583	210,553	207,436	202,229	195,343	187,072

〔ケース1と同様に住宅開発や社会移動などの人口変動要因が今後も続くと仮定し、なおかつ、子どもの生まれる確率を高く見ている。〕

<ケース4>人口バランスを維持する推計結果（高位）

平成19年から平成24年までの5年間で約1,800人が増加し、10年後の平成29年には約1,200人の減少に転じる。

表 <ケース4>人口バランスを維持する推計結果（高位）（人）

	平成24年 (2012)	平成29年 (2017)	平成34年 (2022)	平成39年 (2027)	平成44年 (2032)	平成49年 (2037)
推計人口	411,799	408,873	401,731	391,016	377,579	362,414
男性	199,426	196,863	192,178	185,917	178,726	171,165
女性	212,373	212,010	209,553	205,099	198,853	191,249

（ ケース2と同様に平成19年以降、転出と転入のバランスが均一で人口構成が変わらない、
もしくは現在住んでいる方が転出されない、市外から転入がないと仮定している。 ）

図 人口推計結果

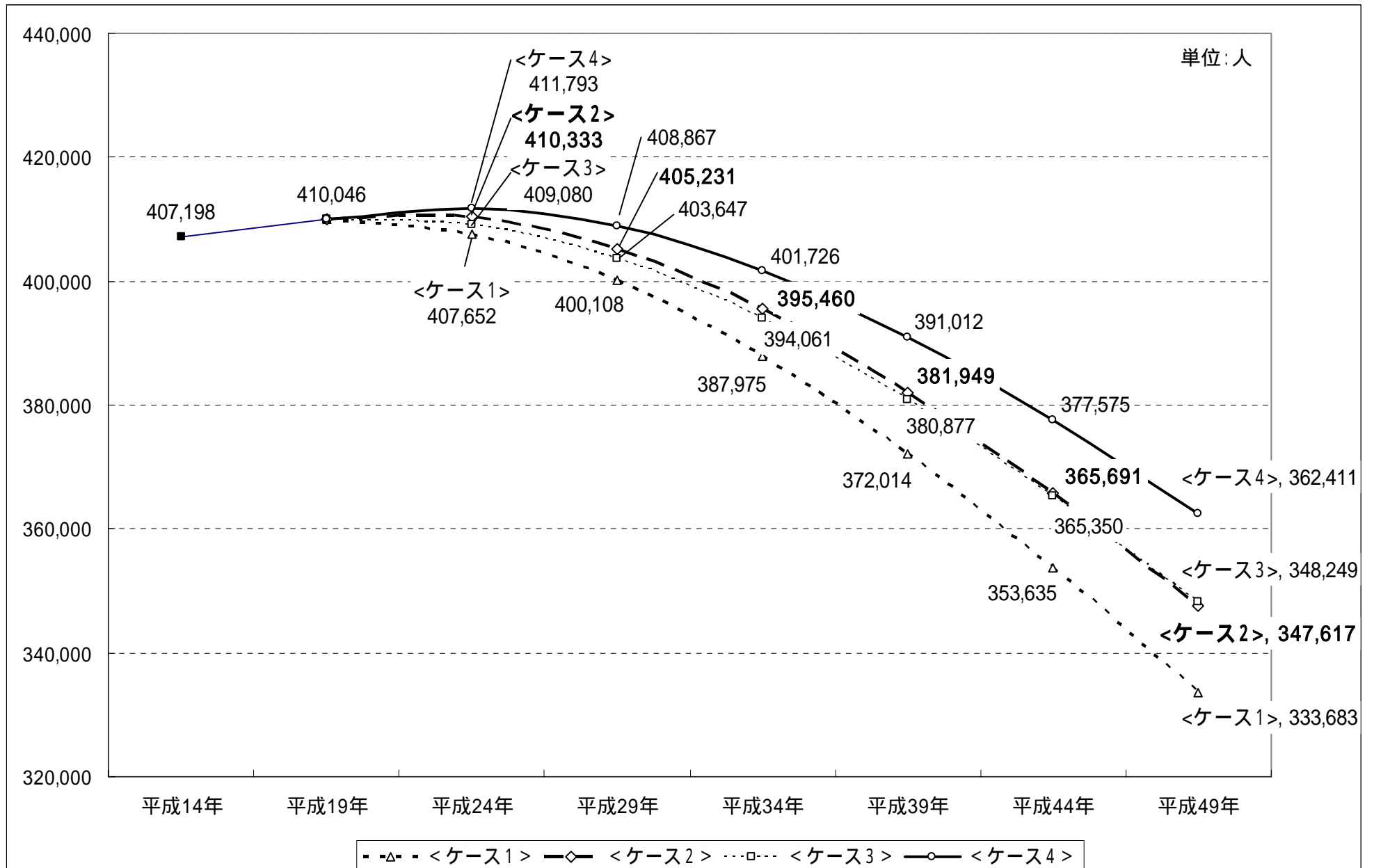
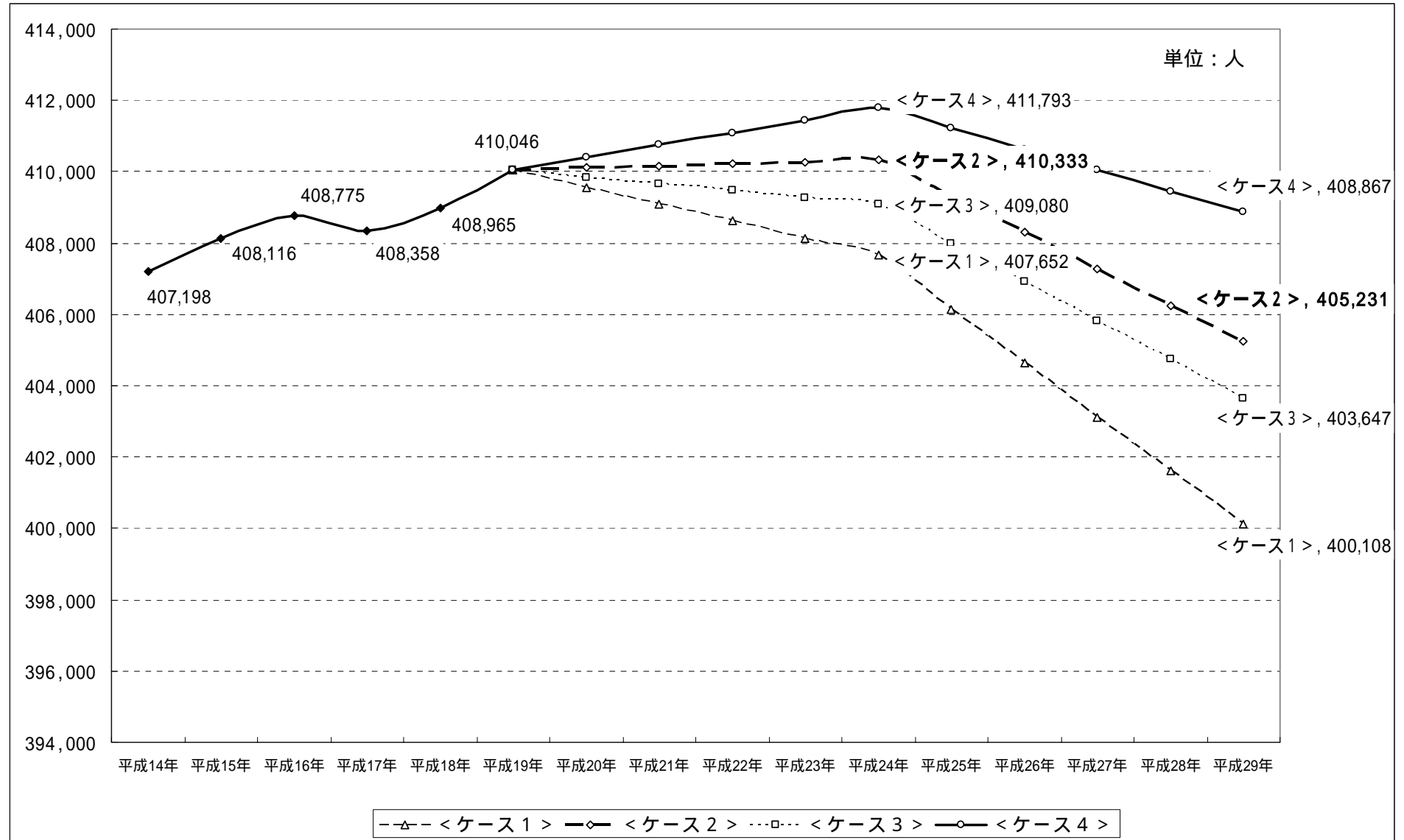


図 平成 14 年から平成 19 年までの人口推移と平成 29 年までの人口推計結果



参考資料 8 推計手法（基礎条件）

(1) 推計条件

- ・男女年齢別の人口は、住民基本台帳人口および外国人登録者数の平成 14 年 10 月 1 日及び平成 19 年 10 月 1 日の $n \sim n + 4$ 歳（5 歳階級別）の男女別人口を使用した。
- ・年齢不詳分と外国人登録者の年齢階層別の人口は、住民基本台帳人口の男女年齢階層別の割合で按分した。
- ・将来の男女年齢階層別推移率は、同平成 14 年から平成 19 年にかけての男女 5 歳階層別の推移率を使用した。
- ・将来の男女年齢階層別生存率は、平成 17 年簡易生命表 による男女 5 歳階層別の生存率を使用した。
- ・将来の女性の年齢別出生率は、国立社会保障・人口問題研究所の平成 18 年 12 月推計による、平成 17 年～平成 47 年までの 15～49 歳の 5 歳階層別の女性の出生率（合計特殊出生率）の中位または高位を使用した。
- ・出生児の男女比は、国勢調査による平成 17 年に産まれた子供の男女比率を使用した。
- ・幼児生存率は、平成 17 年簡易生命表 による産まれた子供の男女別の生存率を使用した。
- ・仮想出生数は、女性年齢別出生率、出生児の男女比、幼児生存率をもとに算出した。
（18,809 人）
- ・実績出生数は、平成 14 年から平成 19 年の間に生まれた子供の数で、平成 19 年の人口データの 0～4 歳の合計数。
（18,591 人）
- ・仮想出生数（18,809 人）と実績出生数（18,591 人）の差（0.9884）を地域補正として将来にわたり適用した。
- ・人口バランスを維持する（仮に社会移動を見込まないとする）推計は、平成 19 年の人口のみを使用し、生存率により将来の人口を推計した。なお、0～4 歳については上記と同様の方法で算出した。

簡易生命表：毎年的人口動態統計の死亡数と、10 月 1 日現在の推計人口を用い、簡略化された計算によって算定された死亡率を表示したもの。

表 住民基本台帳人口及び外国人登録者数による人口

(人)

年齢階層 (歳)	平成 14 年			平成 19 年		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
0～4	10,514	10,011	20,525	9,556	9,035	18,591
5～9	10,363	10,028	20,391	10,836	10,141	20,977
10～14	10,320	9,801	20,121	10,353	10,073	20,426
15～19	11,964	11,693	23,657	10,543	10,037	20,580
20～24	13,687	14,043	27,730	11,768	11,886	23,654
25～29	16,669	16,669	33,338	12,617	13,134	25,751
30～34	17,063	17,122	34,185	15,999	16,181	32,180
35～39	13,895	13,735	27,630	16,791	17,068	33,859
40～44	11,794	11,822	23,616	13,604	13,624	27,228
45～49	12,053	12,660	24,713	11,510	11,851	23,361
50～54	17,143	19,053	36,196	11,779	12,529	24,308
55～59	15,455	16,043	31,498	16,555	18,604	35,159
60～64	13,919	13,831	27,750	14,646	15,608	30,254
65～69	10,238	10,464	20,702	13,009	13,408	26,417
70～74	6,900	7,838	14,738	9,289	10,063	19,352
75～79	4,055	5,577	9,632	5,862	7,359	13,221
80～84	1,857	3,809	5,666	3,078	4,942	8,020
85以上	1,360	3,750	5,110	1,686	5,022	6,708
合計	199,249	207,949	407,198	199,481	210,565	410,046

0～14	31,197	29,840	61,037	30,745	29,249	59,994
	15.7%	14.3%	15.0%	15.4%	13.9%	14.6%
15～64	143,642	146,671	290,313	135,812	140,522	276,334
	72.1%	70.5%	71.3%	68.1%	66.7%	67.4%
65以上	24,410	31,438	55,848	32,924	40,794	73,718
	12.3%	15.1%	13.7%	16.5%	19.4%	18.0%
合計	199,249	207,949	407,198	199,481	210,565	410,046
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

枚方市統計書より (住民基本台帳人口と外国人登録者数を合計した総人口)

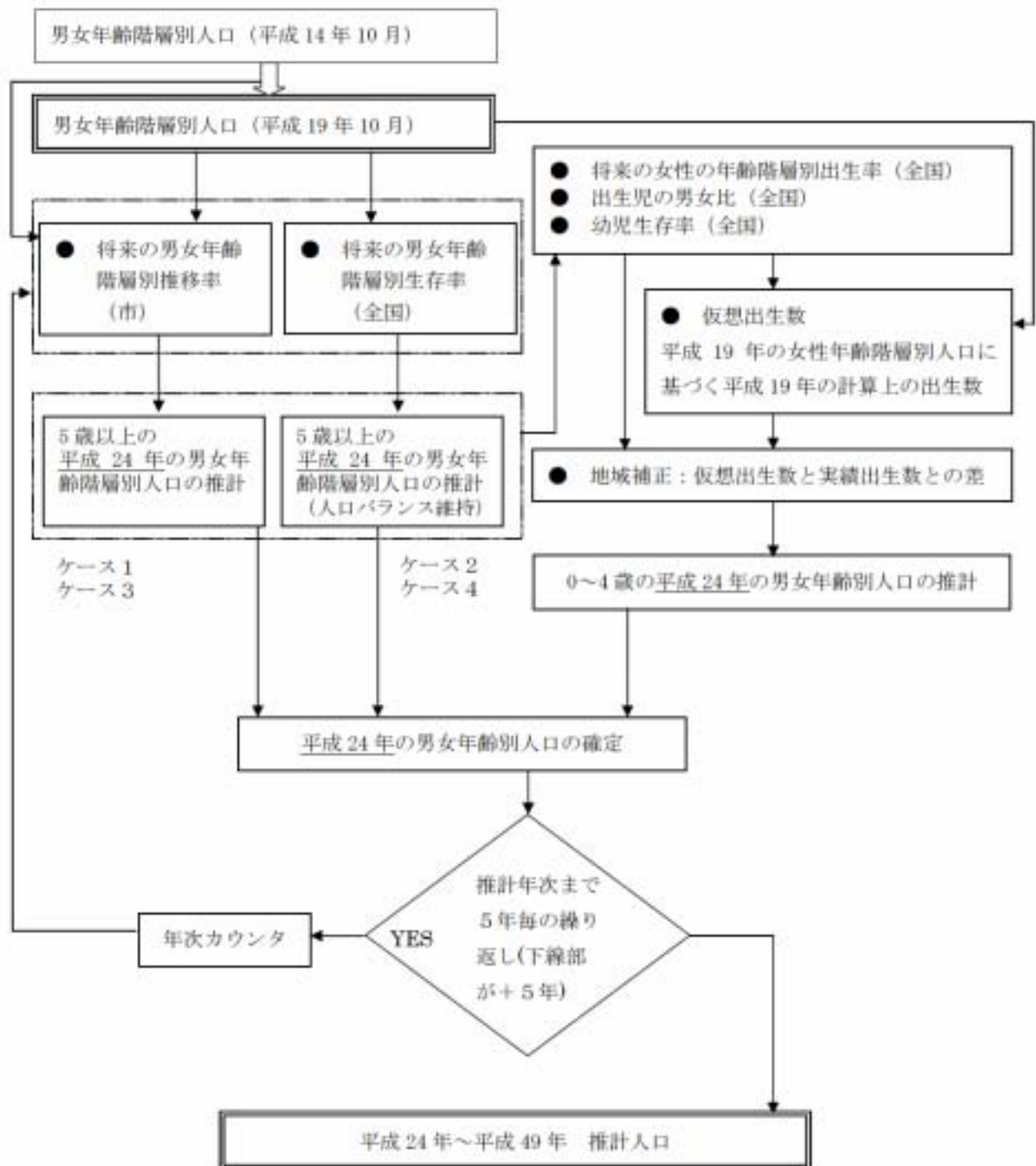
表 男女年齢階層別推移率

平成 14 年	平成 19 年	男性	女性
0～4歳	5～9歳	1.0306	1.0130
5～9歳	10～14歳	0.9990	1.0045
10～14歳	15～19歳	1.0216	1.0241
15～19歳	20～24歳	0.9836	1.0165
20～24歳	25～29歳	0.9218	0.9353
25～29歳	30～34歳	0.9598	0.9707
30～34歳	35～39歳	0.9841	0.9968
35～39歳	40～44歳	0.9791	0.9919
40～44歳	45～49歳	0.9759	1.0025
45～49歳	50～54歳	0.9773	0.9897
50～54歳	55～59歳	0.9657	0.9764
55～59歳	60～64歳	0.9477	0.9729
60～64歳	65～69歳	0.9346	0.9694
65～69歳	70～74歳	0.9073	0.9617
70～74歳	75～79歳	0.8496	0.9389
75～79歳	80～84歳	0.7591	0.8861
80～84歳	85歳以上	0.5241	0.6644

表 出生率と地域補正值

実績出生数(人)	18,591	地域補正	0.9884
仮想出生数(人)	18,809	出生児の男女比	
女性年齢別出生率(平 15)		(平 17)	
15～19才	0.0140	男性	0.5107
20～24才	0.1065	女性	0.4893
25～29才	0.3119	幼児生存率	0.9968671
30～34才	0.4303	男性	0.9966
35～39才	0.2928	女性	0.9972
40～44才	0.0932	平均	0.9969
45～49才	0.0114		

(2) 推計フロー



(3) 男女年齢階層別生存率、合計特殊出生率の推移

表 男女年齢階層別生存率

年齢階層 (歳)	生存率 (平 17)	
	男性	女性
0～4	0.9989	0.9992
5～9	0.9994	0.9996
10～14	0.9989	0.9994
15～19	0.9975	0.9988
20～24	0.9968	0.9984
25～29	0.9963	0.9982
30～34	0.9952	0.9974
35～39	0.9930	0.9963
40～44	0.9891	0.9945
45～49	0.9827	0.9915
50～54	0.9722	0.9872
55～59	0.9574	0.9821
60～64	0.9379	0.9738
65～69	0.9012	0.9572
70～74	0.8388	0.9257
75～79	0.7427	0.8663
80～84	0.6044	0.7537
85以上	0.4357	0.5869

平成 17 年簡易生命表（厚生労働省）より

表 合計特殊出生率の推移：中位・高位・低位推計

年次	中位	高位	低位
平成 17 (2005)	1.2601	1.2601	1.2601
22 (2010)	1.2184	1.3282	1.0806
27 (2015)	1.2171	1.4033	1.0418
32 (2020)	1.2289	1.4783	1.0425
37 (2025)	1.2335	1.5145	1.0400
42 (2030)	1.2382	1.5264	1.0384
47 (2035)	1.2450	1.5322	1.0433
52 (2040)	1.2517	1.5368	1.0504
57 (2045)	1.2566	1.5401	1.0556
62 (2050)	1.2604	1.5429	1.0591
67 (2055)	1.2640	1.5461	1.0630

平成 17(2005)年は実績値である。死亡中位推計による。

国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来人口推計」(平成 18 年 12 月推計)より

